

高等学校、企業との有機的連携による
航空人材育成事業

学校法人 日本航空学園
日本航空大学校 北海道

掲載のしおり

- ◆ 事業の趣旨
  - コンソーシアム委員構成
  - 実証授業の段階的ねらい及び実施概要
- ◆ 令和7年度 重点実施事項
  - 空港現場でのリアル体感授業
  - 実施事例
  - 生徒の感想
- ◆ チャーター便活用した体験搭乗学習
  - 空港現場の仕事説明と搭乗学習
  - 参加高校及び新聞掲載例
- ◆ コンソーシアム委員からの講評
- ◆ 各アンケート結果概要
- ◆ 当事業から本校進学した学生について
- ◆ 航空業界人材の裾野拡大に向けた活動

事業の趣旨・目的

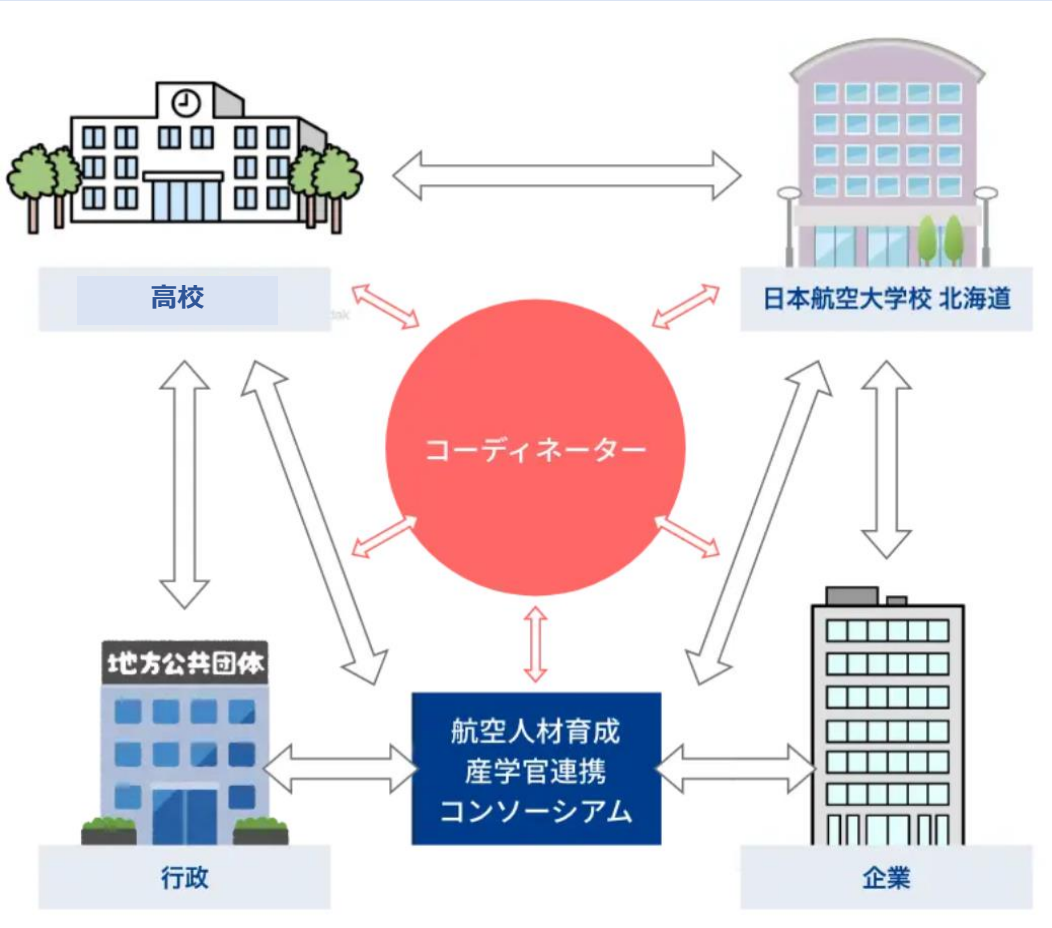
高専共通の教育目標と一貫したカリキュラム構築により
航空業界における中核的人材育成の課題とされる「航空業界の人材不足」と
「専門学校での中途退学」の解決をはかる

- **深刻な人材不足が懸念される2030年問題に加え 航空業界はコロナ禍期の人材流出や採用見送りも影響**
  - **→ 現在 航空需要回復により採用が再開されても人材不足は解消されない大きな課題**
- **高等学校において航空業界に対する情報不足,出前授業など行っても単発的な業界説明に留まる**
  - **→ 現場で必要とされる教育が行われず 理想と現実のギャップから中途退学につながる懸念**

高等学校	専門学校	企業
航空業界を希望する生徒への **明確なキャリアパス指導**	必要な資格や知識を持った **航空人材の育成,輩出**	人材不足問題の解決に向け **資格知識を有す人材確保**

航空業務に関する高専一貫の教育プログラムによる人材育成

令和7年度 コンソーシアム委員会



構成委員

高校

- 帯広北高等学校　・札幌光星高等学校
- 姫路工業高等学校

行政

- 北海道教育庁 学校教育局
- 千歳市教育委員会 教育部

企業

- (株)JALエンジニアリング
- (株)JALグランドサービス札幌
- (株)JALスカイ札幌
- ANAラインメンテナンステクニクス(株)
- ANA新千歳空港(株)
- (株)AIRDO
- 北海道エアポート(株)
- (株)IHI 航空宇宙防衛事業領域
- (株)ケイテック

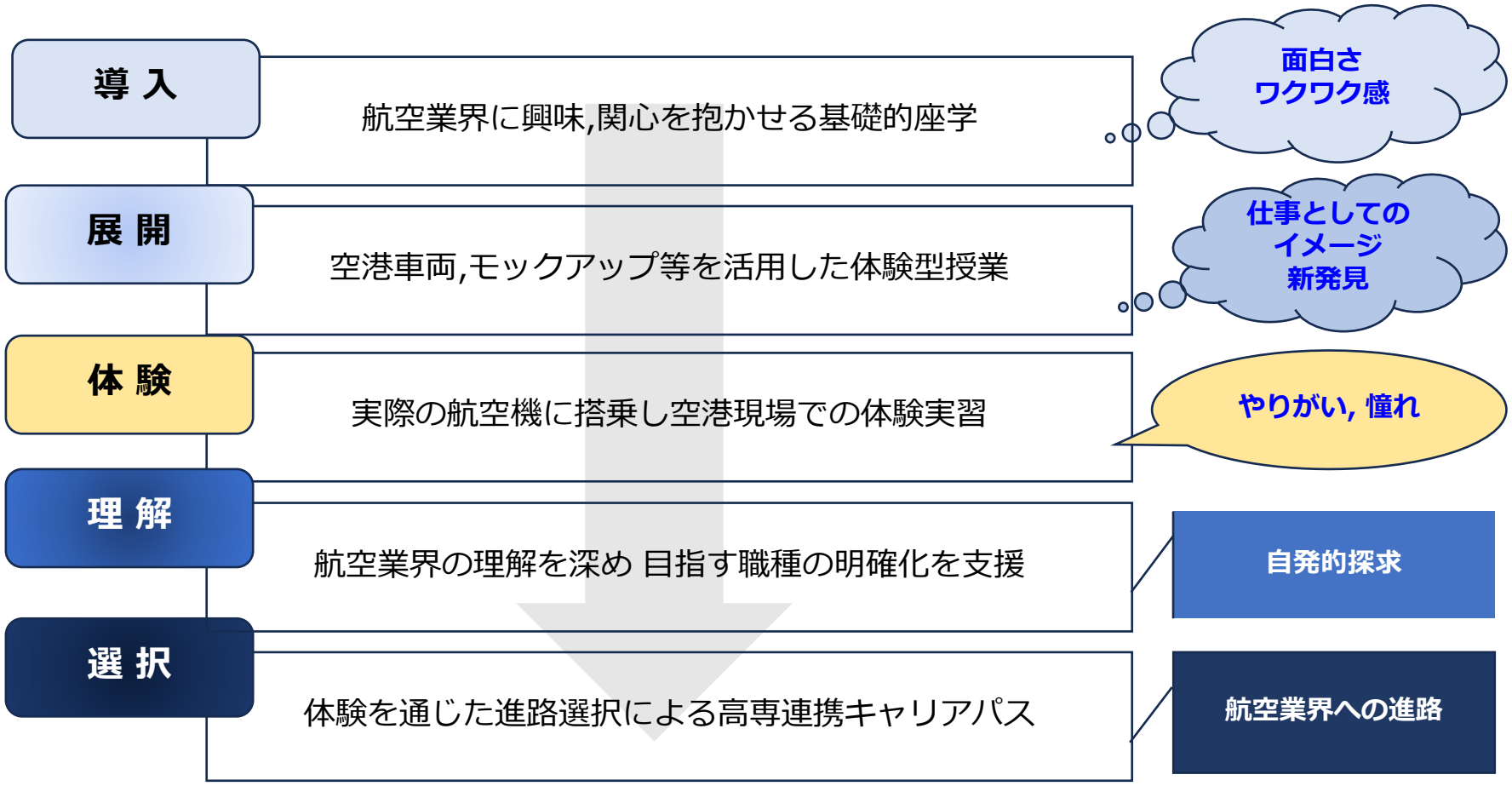
コーディネーター

- (株)道銀地域総合研究所

提携高校との実証授業

対象学年, 実施回の段階的な狙いを設定する事で 目的を明確にカリキュラムを構築する

【実証授業における段階的ねらい】



提携高校との実証授業 – 実施概要

出前授業	＊ 各高校にて本校各学科の基本座学による導入授業 ＊ 模擬体験やVR教材も使用し生徒の関心を高める工夫 ＊ 航空業界に関する概要説明、実施高校OB学生なども参加
来校(体験)授業	＊ 本校施設内の専門機材(特殊車両,飛行機,モックアップ,3D-CAD等)体験使用 ＊ 基本導入授業から、仕事としての航空業界をイメージさせる展開授業 ＊ 進学後の学校生活(寮, 学生食堂)についても事前見学説明
体験搭乗学習	＊ 航空会社社員から空港での仕事について直接説明後、実機での体験搭乗 ＊ 機内でどのような仕事をしているか、航行中にリアルタイムな説明 ＊ 整備,グランドスタッフ,客室乗務員,操縦 全て本校卒業生が説明応対

令和7年度 実証授業 – 提携校への出前授業 (実施例)



【航空業界、本校の概要説明】



【飛行機、非常用酸素装置について】



【機内サービス模擬体験】



【VR教材での航空機説明】



【ドローンの基本的なしくみ】



【グラハン マーシャリング模擬体験】

令和7年度 実証授業 – 本校での体験授業 (実施例)





【航空機 各基本装置について】





【モックアップでの緊急脱出学習】





【特殊車両 運転体験,見学】



【3D CADでの設計基礎体験 】

令和7年度 実証授業 – R7年度重点取組み

◆ 重点推進事項：“空港現場”での学習機会を拡充

＊空港を活用した体験学習、企業連携によるリアルを体感できる学びを拡充化

体験型学習を増やし生徒が自ら感じ,考える機会として授業取組み

北海道エアポート社との航空・空港人材育成連携協定
↓
企業各社との協力による産学連携での人材育成教育実施

◆ 事業提携各高校との実証授業

帯広北高校

＊1年生 導入出前授業
地元帯広空港見学学習

＊2年生 地元帯広空港見学学習
新千歳空港見学学習

札幌光星高校

＊航空業界に関心ある希望生徒対象に出前授業

＊空ゼミ生徒を対象 新千歳空港での見学及び本校で体験授業

姫路工業高校

＊企業との連携コラボ授業実施

＊デザイン科,機械科それぞれ企業から講師を招き関連する体験型授業

令和7年度 実証授業 – R7年度重点取組み

日本航空大学校
北海道 新千歳空港キャンパス

◆ “空港現場”での見学学習 実施概要

＊空港カウンター及びバックヤードでの旅客業務見学

＊駐機場(一般制限区域)に入ってのグランドハンドリング,整備業務見学

＊航空機体及び機内見学

＊空港内会議室での各業務分野に関する仕事説明

○ 到着機体でグランドハンドリングによるマーシャリングや荷物取扱い(積み下ろし、トーイングトラクターでの運搬、搭載等)

○ 航空整備点検の概要と共に、翼やエンジンを含めた飛行機の機体構造について説明

○ ボーディングブリッジ着脱,トーイングカーによるプッシュバックなど出発に向けた作業見学

○ 空港特殊車両の種類や働きについての説明と乗車体験

○ カウンターでのチェックインや発券業務、車椅子サービスなど実例での説明











令和7年度 実証授業 - 空港活用実施 事例

帯広北高校 (2年生)

昨年9月帯広北高校での導入授業、
12月日本航空大学校での体験(展開)
授業実施を経て空港体験授業



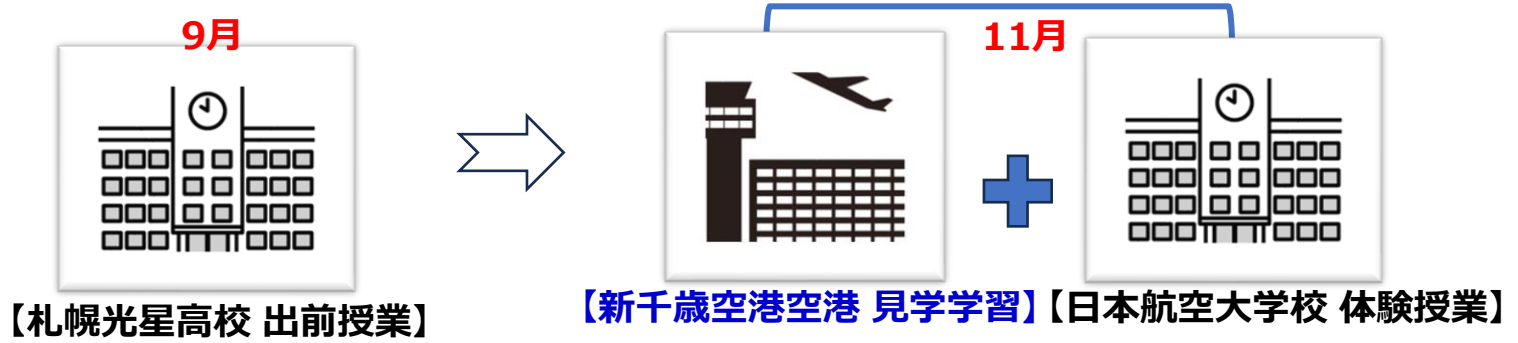
帯広北高校 (1年生)

1年生に航空業界に関する講義,各学科の導入授業実施し空港見学



札幌光星高校 (希望者)

希望者78名に対する出前授業, 更に空ゼミ生徒24名を対象に体験授業で深堀り



令和7年度 実証授業 ～ 空港見学授業 参加生徒の声(抜粋)

(6月 帯広空港/帯広北高校)

- 北海道の地方空港としてとても重要な役割を果たしている事を強く感じた
- 地元の空港なのに仕事内容や働いている人たちの役割を初めて知る事ができた
- 多くの専門的な仕事が関わって飛行機を飛ばしているという実感がわいた
- 色々な役割の人がいるから安全に飛行機がとべることを痛感した
- 学校で教わった事を実際に間近で見て知ることができ仕事内容を理解できた





(7月 新千歳空港/帯広北高校)

- 北海道はとにかく広く帯広空港の有難さや飛行機移動の大切さを感じた
- 帯広空港と規模の違い,新千歳空港での自動作業など技術の高さを改めて知った
- どちらの空港も安全第一に一つ一つの作業を丁寧に行っていた
- 帯広空港でも新千歳空港でも仕事に細かな違いはあるけど一番大事なものは変わらないと思った
- 航空機整備やグランドハンドリングの実際の作業している様子が見れ良かった

令和7年度 実証授業 ～ 空港見学授業 参加生徒の声(抜粋)

(11月 新千歳空港/札幌光星高校)

- 飛行機を飛ばすには裏で多くの人が関わり安全運航を支えている事を実感した
- 自分で体験しなければ分からない事が沢山ある事を改めて気づいた
- 自分が想像していたより多くの業務があることを知り進路の幅が更に広がった
- お客様の安全を第一に沢山の人が向き合って仕事している事に憧れを感じた
- 見たり説明されるだけでなく 現場で実際に体験する事で実感でき印象に残った





＊ 実際に飛行機の運航を安全に支える多くの仕事がある事やその役割を知る機会

＊ 普段何気なく利用している空港や飛行機に対する仕事としての新たな気づき

＊ 航空業界を知る上で現場体験を通じ安全第一に取組む重要性、やりがいを感じる

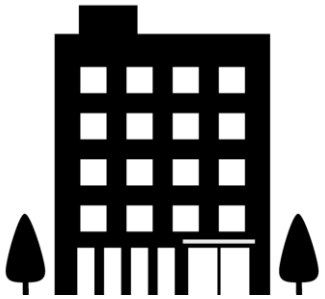


令和7年度 実証授業 - 企業連携出前授業 工場見学



【デザイン科】 → JAAトータルモビリティ工学科
(株)ケイテック

【機械科】 → JAA 航空整備科,グランドハンドリング科
エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株)



【デザイン科】

＊構造設計に関するグループワーク

- 製図の基礎理解
- 3Dモデルから事象を検証し構造上の改善策を導くグループワーク

【機械科】

＊航空機整備に関する基礎学習

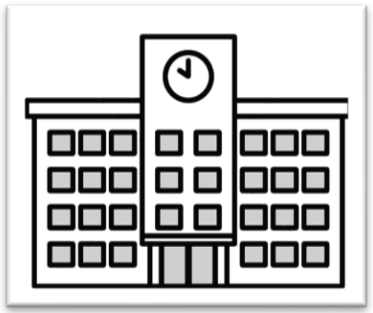
- ヘリコプター種類,用途,基礎的作業
- リベット打ち体験学習
- グラハン業務とマーシャリング体験








令和7年度 実証授業 - 企業連携見学授業



姫路工業高校

【デザイン科】

(株)ケイテック

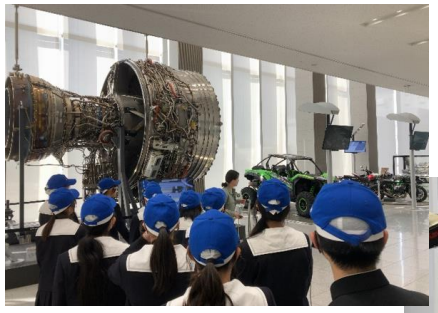


＊モビリティ業界説明への関心を高める

- モーターサイクルエンジン製造工場見学
- モーターサイクル車体製造工場見学
- 産業用ロボット等の展示見学
- (株)ケイテック, 日本航空大学校北海道の説明













令和7年度 実証授業 - チャーターフライト体験搭乗学習

◆ チャーター機を利用した【体験】搭乗実習

実際の飛行機に搭乗し空港現場を体験する事で 航空業界への憧れや仕事のやりがいを感じてもらう。

【運航概要】

- ＊ 2025年9月17日
- ＊ 新千歳空港発 13:35 ～ 14:35 新千歳空港着
- ＊ 運航航空会社 AIRDO (使用機 B737-700)
- ＊ 搭乗者：高校生117名,教員6名, 行政及び事業関係者含め 全140名搭乗



当日の実施概要

空港会議室

航空会社職員による
仕事説明

＊ 客室乗務員
＊ グランドサービス
＊ 航空機整備

空港施設

日本航空大学校による
仕事説明

空港現場で作業中の
グランドハンドリング
作業内容説明

搭乗実習

新千歳空港発着 約60分間の周遊飛行

＊ キャプテンによる操縦席での業務説明
＊ 普段は聞けないリアルタイムなフライト説明
＊ 生徒に向けた航空業界への啓発アナウンス

当日 仕事説明を行ったAIRDO職員, 当該便の客室乗務員3名 及び操縦士いずれも日本航空大学校卒業生が対応し高校生にアドバイス

令和7年度 実証授業 ～ チャーターフライト体験搭乗学習 (参加高校)

日本航空大学校 北海道 新千歳空港キャンパス

◆ 帯広北高等学校

＊ 本校が推進する「高等学校、企業との有機的連携による航空人材育成事業」の提携校

＊ 今年度は既に 6月/帯広空港での見学授業 7月/新千歳空港での見学授業を実施

＊ 今回のチャーター便体験搭乗学習には 1年生8名, 2年生53名,3年生21名が計82名参加

【参考：2025年度 日本航空大学校北海道への入学者数】

- グランドハンドリング科 2名、キャビンアテンダント・グランドスタッフ科 3名

◆ 北海道札幌工業高等学校

＊ 本校へのインターンシップを通じ航空業界を志望する生徒に体験学習を実施している高校

＊ 今年度9月 高校/機械科から6名,電気科から4名の生徒が本校で3日間のインターン授業実施

【参考：2025年度 日本航空大学校北海道への入学者数】

- グランドハンドリング科 2名、航空整備科 2名、キャビンアテンダント・グランドスタッフ科 1名

◆ 北海道札幌琴似工業高等学校

＊ 空港ランプエリアでの人材不足に対し札幌工業高校と共に技術系の生徒誘致を進める対象校

＊ 航空業界への進路を検討する生徒を対象に体験搭乗学習に参加、今後出前授業等も検討

【参考：2025年度 日本航空大学校北海道への入学者数】

- 2025年度は無し、2024年度 キャビンアテンダント・グランドスタッフ科 1名

◆ 北海道函館工業高等学校

＊ 本校とはDX人材育成事業においても連携校として来校授業を行う高校

＊ 今後更に連携を深め道南地域での航空分野(整備,グラハン)人材育成を推進していく計画

【参考：2025年度 日本航空大学校北海道への入学者数】

- 航空整備科 2名

◆ 駒澤大学附属苫小牧高等学校

＊ 航空分野を目指し本校に進学する生徒(整備,グラハン,CA,GS)が毎年数名いる高校

＊ 高校で行われる進学ガイダンスをきっかけに本校でのオープンキャンパスにも生徒達が多数参加

【参考：2025年度 日本航空大学校北海道への入学者数】

- グランドハンドリング科 3名

◆ 北海道苫小牧工業高等学校

＊ 既に来年度航空整備科に入学予定者1名有り,進路検討中の高2生が体験搭乗参加

【参考：2025年度 日本航空大学校北海道への入学者数】

- 航空整備科 1名

本校でのインターシップや出前授業等 航空業界を目指す高校/生徒を対象に人材育成の水平展開を図る

令和7年度 実証授業 ～ チャーターフライト体験搭乗学習 (新聞報道)

空への憧れ 高校生「強まった」

千歳・航空大学校 体験搭乗と説明会



エア・ドゥのチャーター機で、客室乗務員からあめを受け取る高校生たち

【千歳】日本航空大学校北海道（千歳）は17日、道内の高校生を対象とした航空業界の説明会と、チャーター便を使った飛行機の体験搭乗会を新千歳空港で開いた。生徒たちは各業務の説明を受けながら飛行機に乗り、多くの人が携わる飛行機の運航について理解を深めた。

航空業界の人材確保につなげようと、同大学校が2023年から実施している。今年は同大学校と人材養成に関する連携協定を結ぶ札幌工業高、札幌高、函館工業高、苫小牧工業高、計約130人が参加した。

説明会とチャーター便にはAIRDO（エア・ドゥ、札幌）が協力。港内で、同大学校を同社社員が、客室乗務員、グランドスタッフ（上職）などの仕事の介した。

午後は同社のボー737-700型機に新千歳空港を出発。を経由して新千歳に時間のフライトを楽乗務員はアナウンスの飛行機を飛ばすた数え切れない人たち欠かせない。航空業数の可能性がある」めた。

航空業界に興味が加したという帯広北神勇汰さん(17)は「容やフライトに関わさ、それぞれの安全さを知ることができの憧れがさらに強ま話した。

帯北高から空の仕事へ

日本航空大学校と協力5年

体験搭乗、地上業務見学…進学増に手応え



機内アナウンスに挑戦する生徒

航空業界の人材不足問題の解決を目指し、日本航空大学校北海道（千歳市、梅澤忠学長）と帯広北高校（奥野淳一校長）が協力校となって5年。出前授業や体験学習、インターンシップなどを通じて空の仕事への理解を深めてきた。帯北高から同大学校北海道に進学する生徒は増加傾向にあり、取り組みの成果が表れているという。両校の教育内容を詳しく知るため、17日に行われたチャーター便での体験搭乗学習に同行した。（安藤有紀）

高・専通じ育成

に、両校は2020年に協定を締結。「航空人材育成産学官連携コンソーシアム」を立ち上げ、航空業界で活躍する人材を育てる教育プログラムを高・専一貫で実践してきた。今年度は同大学校北海道が文部科学省の「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の採択を受けたのを機

6月にとかち帯広空港、7月に新千歳空港でそれぞれ見学授業を実施した。

チャーター便の体験搭乗学習は、一昨年、昨年に続き3回目。運航にはエア・ドゥ（札幌市）が協力した。この日は帯北高から1～3年生の82人が参加。最初に行われた講義では、客室乗務員とグランドスタッフ、整備士の3人が業務内容を紹介した。

卒業生が講師

続いて、国内線ターミナル3階から滑走路を眺めながら、グランドハンドリング（地上支援業務）の仕事を学習。この日の講師は全員が同大学校の卒業生。在学時代の思い出を交えながら仕事のやりがいを伝えると、生徒たちが静かに聞き入っていた。帯北高2年の



グランドハンドリングについて説明を受ける生徒たち

機内案内に緊張

飛行中、3人の生徒が機内アナウンスを体験。進路に航空業界を考えているという3年の神勇汰さん(17)は「アナウンスするとき、搭乗客一人一人の顔が意外と見えることがわかった。とても良い経験になった」と感想。2年の三品結那さん(16)は「緊張したが、CA（客室乗務員）さんが優しく教えてくれたので楽しく話せた」と笑顔を見せた。

今年度、帯北高から同大



畑空さん(17)は「普段できない体験ができ、いろいろな仕事の話が聞けておもしろい。来て良かった」と話した。

保安検査を受けた後、いよいよチャーター機に乗り込み、新千歳空港を離陸。約1時間かけて日高から帯広、本別、音更、新得の上空を飛行し、再び同空港に着陸した。機内ではパイロットや客室乗務員の仕事内容が紹介された。

令和7年度 実証授業 ～ コンソーシアム委員からの声(抜粋)

高校教員

- 空港現場学習に参加した生徒は学校に戻ってからも周囲にその話題を話し次回も期待している。
  生徒にとって**非常に貴重な体験**である。
- 航空を含め必要な情報はネットで幾らでも取れるが、実際に働いている現場に来て、自分がどういうキャリアを選んでいくか、**リアルな体験をする事はいつの時代も重要。**

企業
航空会社

- 入社後にミスマッチで辞めていく人もいる。事前に現場を見て体感しながら学ぶ事は大事な機会で、
  この事業は入口としても貴重な取組みである。
- 航空業界、空港の仕事は専門性が高い。
  それぞれの仕事を知り、資料だけではなくて**実際に体験学習を通じて学ぶ事が大事**である。
- 体験学習を通して社員から直接魅力を伝えながら**体験型プログラム**を作る事が大事で、**引き続きこの事業に協力**していきたい。
- **卒業生から企業説明**をしてもらう事で高校生たちの関心が高まると同時に、卒業生にとっても自分の卒業校に関わる仕事に協力できる事でのやりがいも感じ引き続き携わっていきたい。

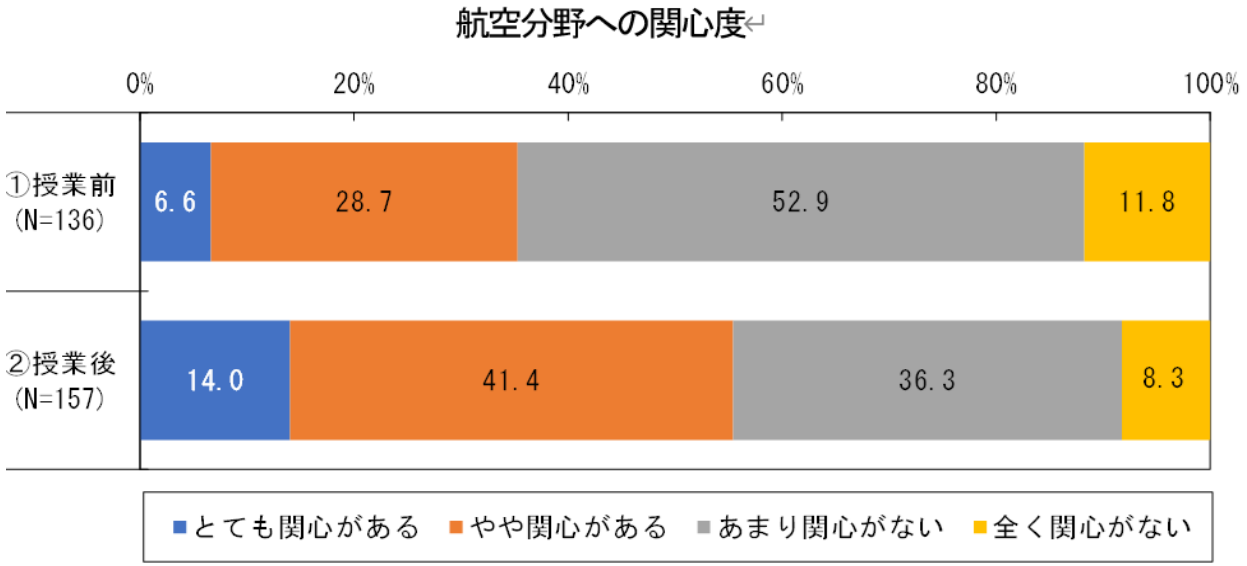
行政機関

- 生徒が自分のキャリアを形成していく中で、実物を見たり、触れたり、実際の職場で働いている人の話を聞いたり、
  五感を通して体験学習をする事は非常に重要。引き続きこの様な機会は必要で更に今後**裾野拡大を進めて**ほしい

アンケート実施による成果検証

■. 帯広北高校 2年生 (6月)

＊ 授業前/授業後 各航空分野への関心, 進路意識に対する変化

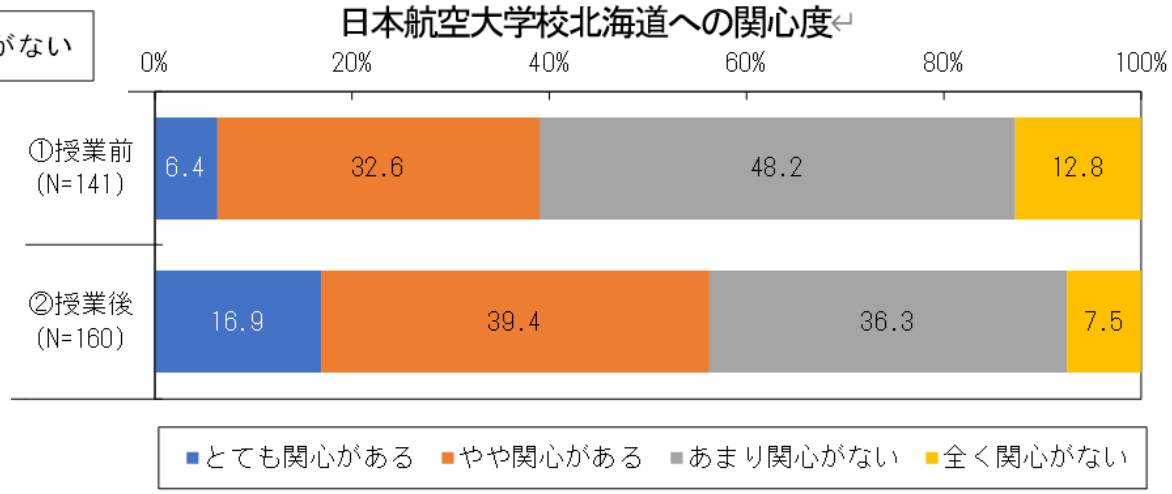


航空分野への関心度は

授業前35%だったが 授業後56%まで増加した。

日本航空大学校への関心度は

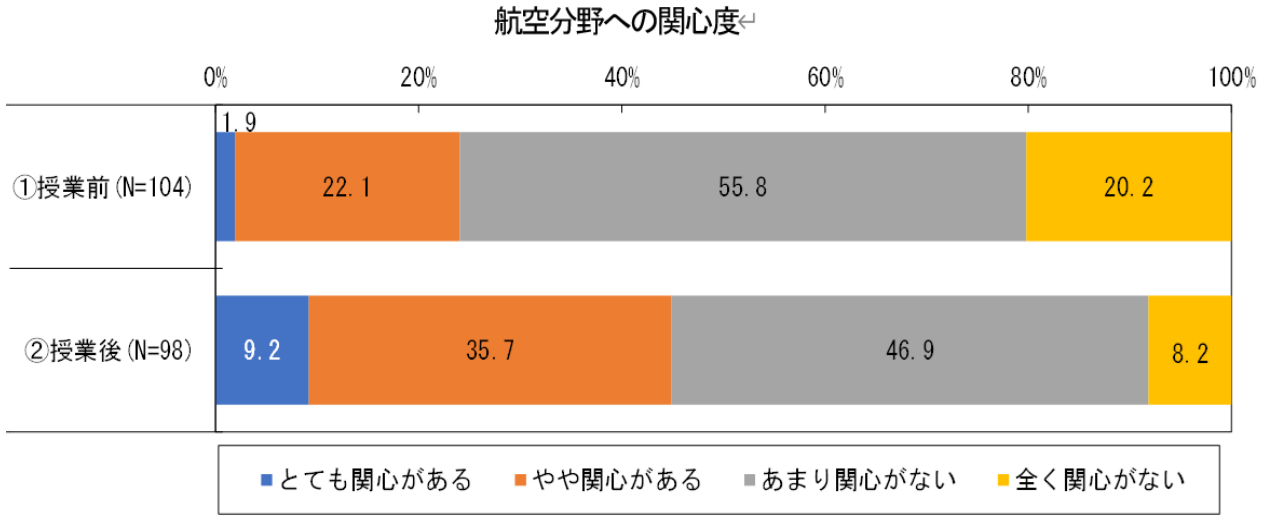
授業前 39%だったが授業後56%まで増加した。



アンケート実施による成果検証

■. 帯広北高校 1年生 (10月)

＊ 授業前/授業後 各航空分野への関心, 進路意識に対する変化

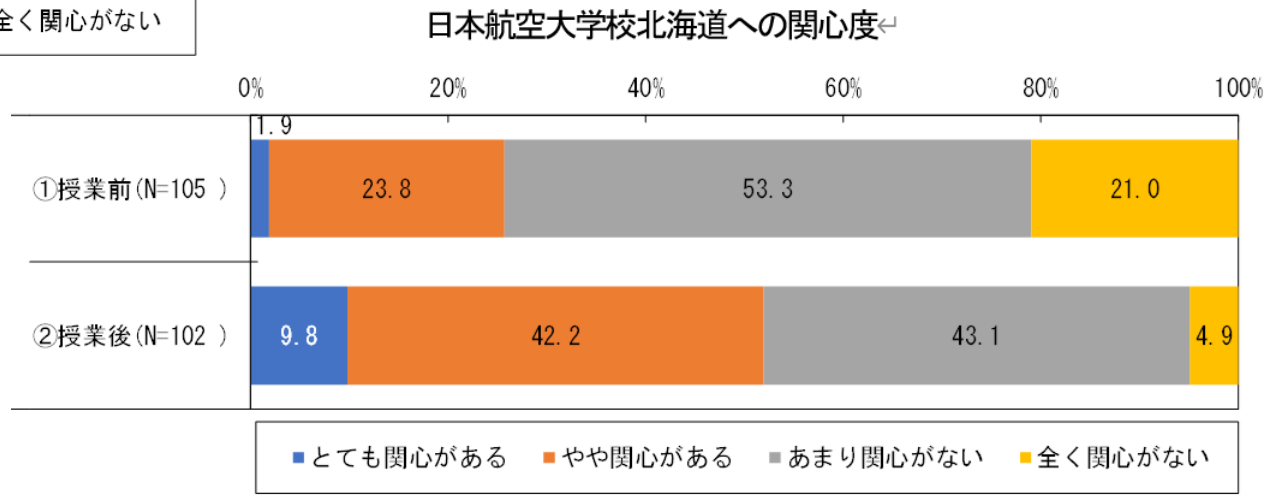


航空分野への関心度は

授業前24%だったが 授業後45%まで増加した。

日本航空大学校への関心度は

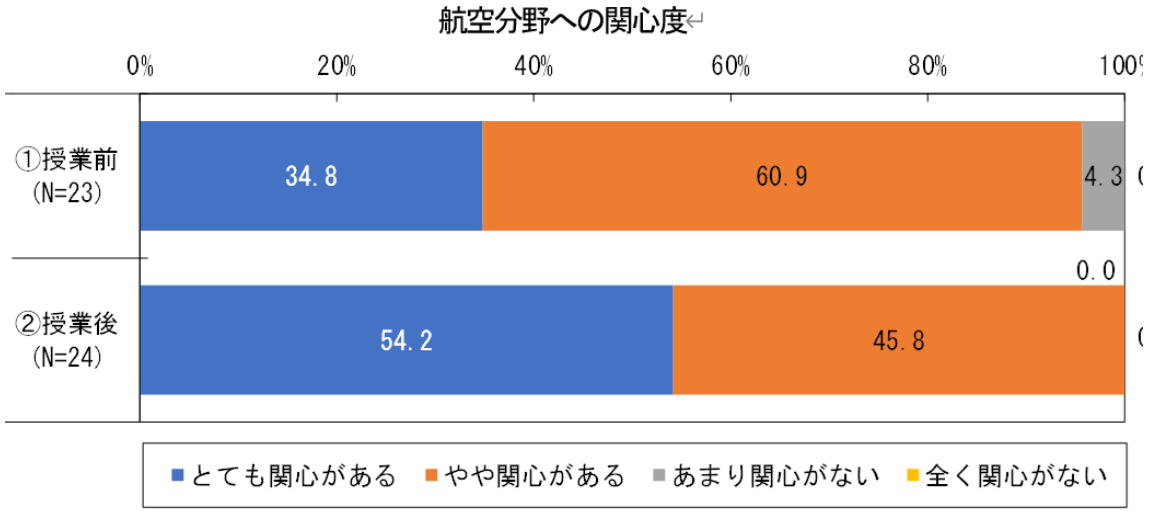
授業前 26%だったが授業後52%まで増加した。



アンケート実施による成果検証

■. 札幌光星高校 空ゼミ (11月)

＊ 授業前/授業後 各航空分野への関心, 進路意識に対する変化

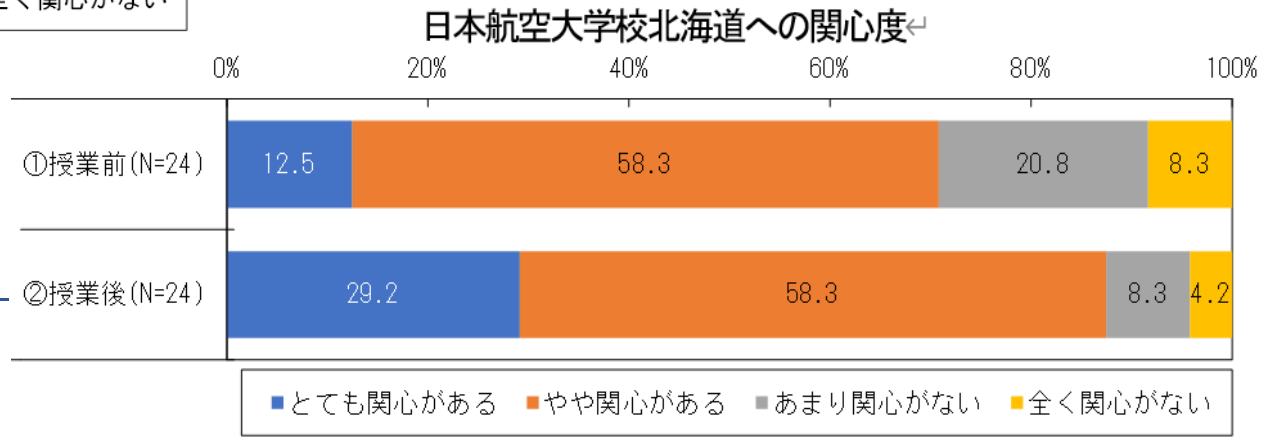


航空分野への関心度は

授業前95%だったが 授業後100%まで増加した。

日本航空大学校への関心度は

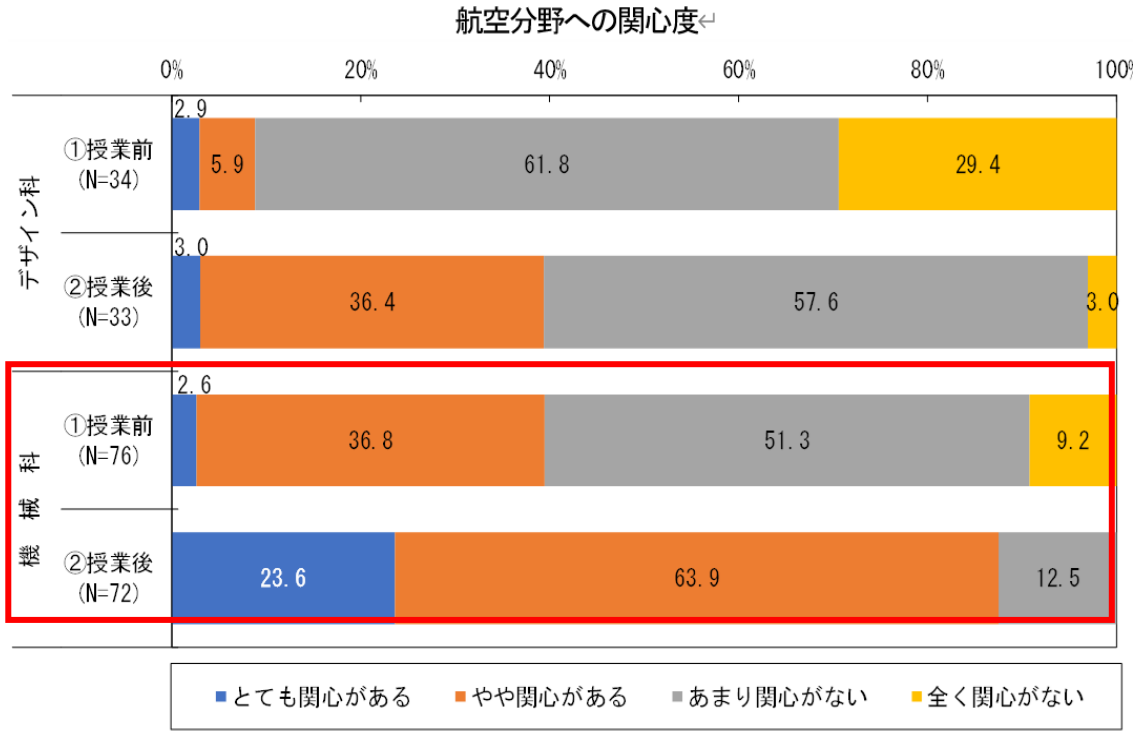
授業前 70%だったが授業後88%まで増加した。

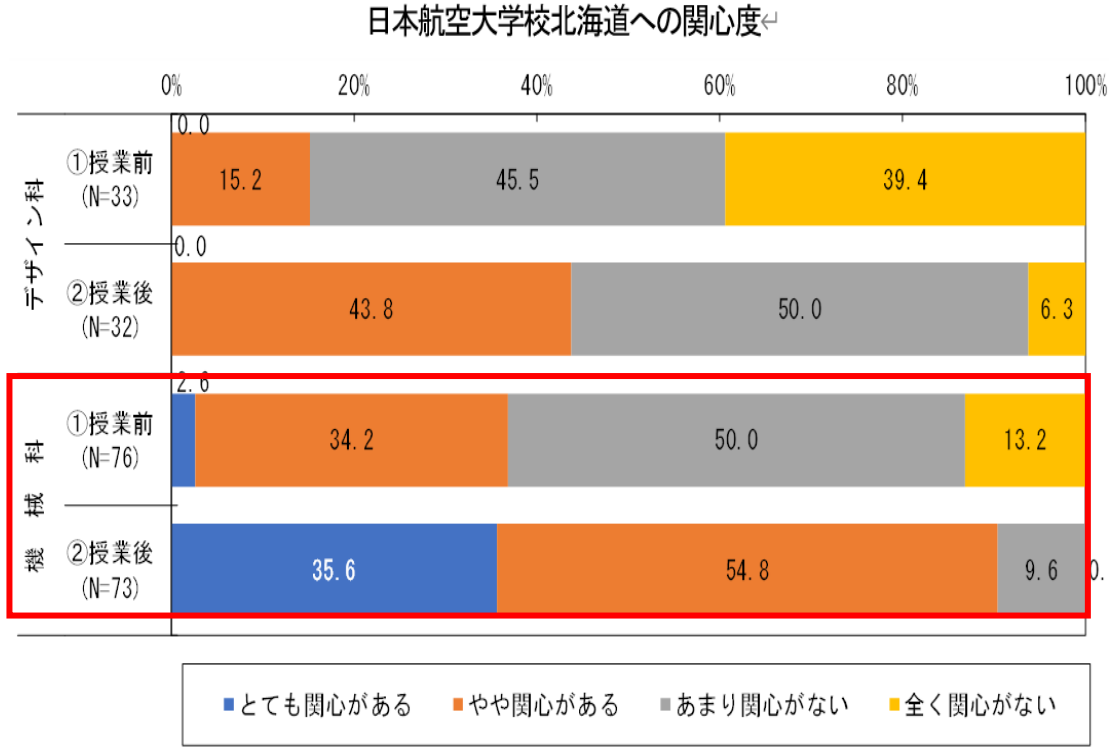


アンケート実施による成果検証

■. 姫路工業高校 7月(デザイン科、機械科)

＊ 授業前/授業後 各航空分野への関心, 進路意識に対する変化





【航空分野への関心度】

(デザイン科) 授業前9% → 授業後39%まで増加

(機械科) 授業前39% → 授業後88%と大きく増加した。

【日本航空大学校への関心度】

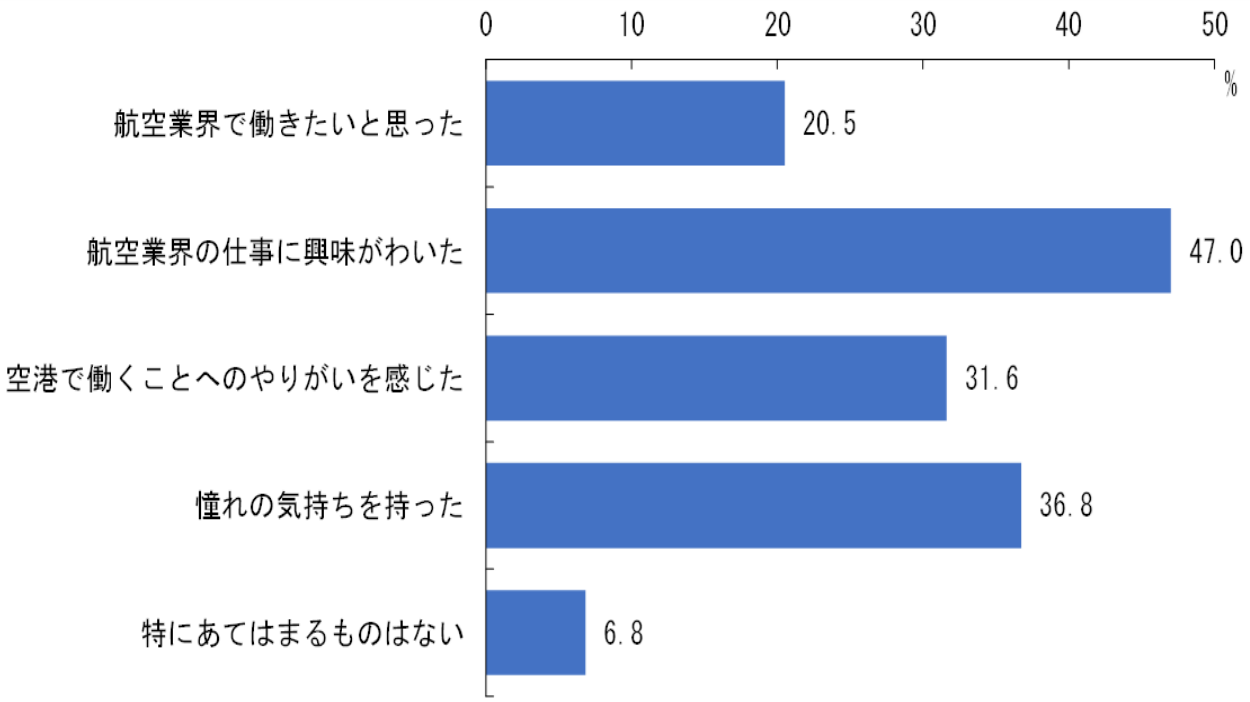
(デザイン科) 授業前15% → 授業後44%まで増加

(機械科) 授業前36% → 授業後90%と大きく増加した。

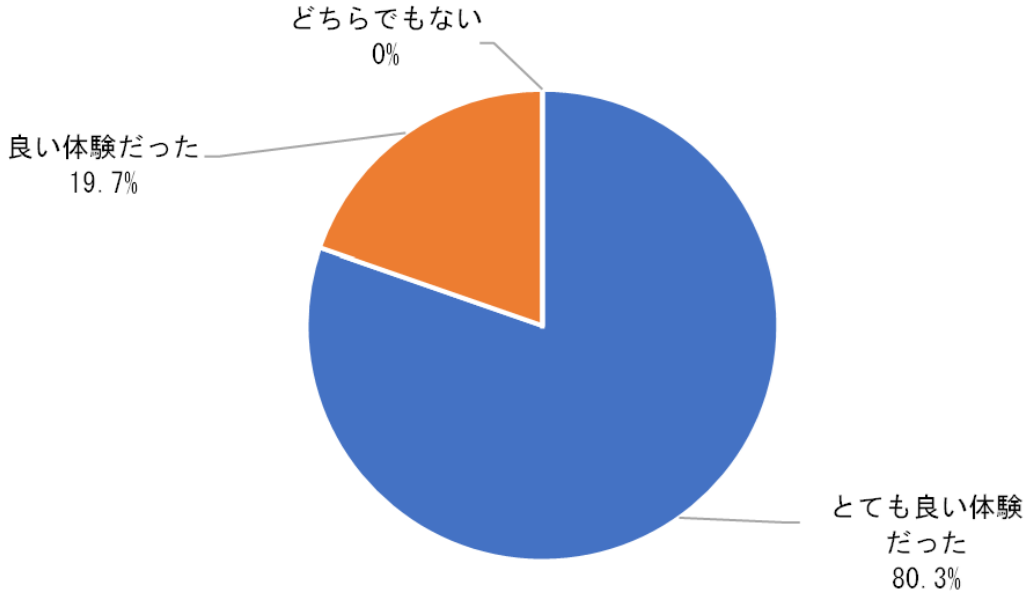
アンケート実施による成果検証

■. チャーター便体験搭乗学習（9月）

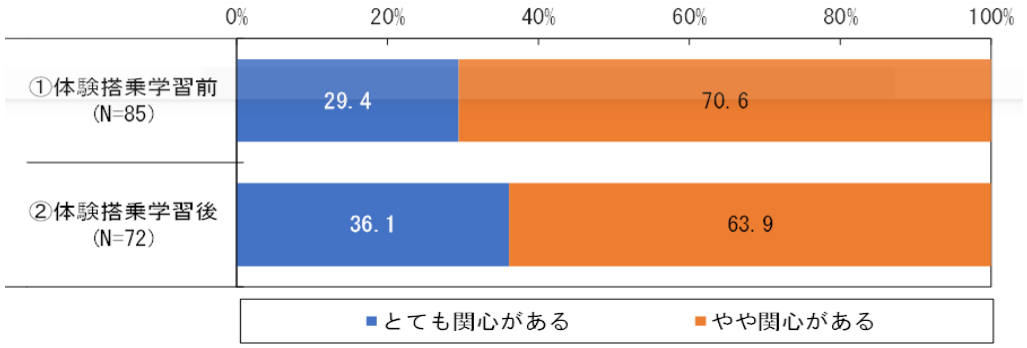
チャーターフライト搭乗で感じたこと（N=117）



チャーターフライト体験搭乗学習の満足度（N=117）



航空分野への関心度・「とても関心がある」+「やや関心がある」について



航空業界への仕事に興味と憧れ,やりがいを感じたとの声が多かった

アンケート実施による成果検証

帯広北高校卒業生トレーシング

2024年4月 本校入学：グランドハンドリング科 6名、航空整備科 1名

2024年 7月 (入学後3ヵ月)

【 本校に進学を決めたきっかけは？】

＊7人中 6人がこの実証授業 (1名は元々航空希望)

【実証授業は入学後 どう役立っていますか？】

＊ 授業を受けた事で航空の仕事に関心を持てた

＊ 他の学生が入学後に学ぶ事を少しでも先に学べ理解できた

＊ この学校での大まかな流れ等を事前に理解できた

【現在考えている進路について】

＊ 7名中 全員が航空業界への就職を目標にしている

2025年 7月 (入学後1年3ヵ月) (グラハン科 卒業年度)

【現在の進路について】

＊ 7名中 6名(グラハン科)航空業界に内定
→ 1名は整備科で残り1年半の修学期間あり進路検討中

【後輩の高校生たちへのアドバイス】

＊ 航空に関する知識が殆ど無かった自分も企業に内定した。
少しの興味からでも魅力を感じる事が夢への第一歩！

＊ 提携授業をしっかり聞いて学び本校で就職目指して

＊ 授業を受ける前に学校の事も知っておき楽しむこと

＊ この学校は就職率100%だけど自分自身で勉強する事が大切
将来どんな道にいきたいかも考えて

実証授業を受けて初めて航空業界の仕事を知り進路選択、本校に進学後 夢に向かって学び 皆望んだ航空業界への就職を決めた

企業連携による人材育成取組み

航空人材育成 裾野拡大に向け全国主要空港でのオープンキャンパス実施

2025年度 実施概要

	空港	業務	協力企業	生徒	保護者
5月	新千歳空港	航空整備 グランドハンドリング	JALｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ JALｸﾞﾗﾝﾄﾞｻｰﾋﾞｽ札幌	21	16
		グランドスタッフ 空港運営	JALｽｶｲ札幌 北海道ｴｱﾎﾟｰﾄ	19	15
	羽田空港	客室乗務員 グランドスタッフ	AIRDO AIRDO	11	8
		航空整備 グランドハンドリング	JALｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ ﾒｲﾜｽｶｲｻﾎﾟｰﾄ	22	13
6月	中部国際空港	航空整備 グランドハンドリング グランドスタッフ	ANAﾗｲﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ ANA中部空港 ANA中部空港	6	6
	関西国際空港	航空整備 グランドハンドリング グランドスタッフ	ANAﾗｲﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ ANA関西空港 ANA関西空港	12	10
	福岡空港	航空整備 グランドハンドリング グランドスタッフ	JALｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ JALｸﾞﾗﾝﾄﾞｻｰﾋﾞｽ九州 ANA福岡空港	20	10
	那覇空港	グランドハンドリング グランドスタッフ	ANA沖縄空港 ANA沖縄空港	27	11
7月	旭川空港	航空整備 グランドハンドリング グランドスタッフ 空港運営	JALｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ 日本通運 日本通運 北海道ｴｱﾎﾟｰﾄ	14	12
9月	新千歳空港	客室乗務員 グランドスタッフ 航空整備 グランドハンドリング	AIRDO AIRDO ANAﾗｲﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ ANA新千歳空港	17 17	11 8
10月	羽田空港	航空整備 グランドハンドリング 客室乗務員	ANAﾍﾞｰｽﾒﾝﾃﾅﾝｽ 羽田空港ｻｰﾋﾞｽｸﾞﾙｰﾌﾟ 日本航空	15 12 14	7 6 7

＊道内及び全国主要空港を使ったオープンキャンパス

＊航空各社及び各関係機関協力の下 産学連携で実施

- 空港の仕事説明, 制限エリア内の作業現場見学
- 日本航空大学校の説明

生徒約230名, 保護者140名 計370名参加

企業連携での航空業界への体験型学習として 次年度以降(R9年度以降も含め)継続実施計画

企業連携による人材育成取組み

航空人材育成 裾野拡大に向け全国主要空港でのオープンキャンパス実施

2025年度 実施概要

	空港	業務	協力企業
5月	新千歳空港	航空整備	JALｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
		グランドハンドリング	JALｸﾞﾗﾝﾄﾞｻｰﾋﾞｽ札幌
		グランドスタッフ	JALｽｶｲ札幌
		空港運営	北海道ｴｱﾎﾟｰﾄ
	羽田空港	客室乗務員	AIRDO
		グランドスタッフ	AIRDO
		航空整備	JALｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
		グランドハンドリング	ﾒｲﾜｽｶｲｻﾎﾟｰﾄ
6月	中部国際空港	航空整備	ANAﾗｲﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ
		グランドハンドリング	ANA中部空港
		グランドスタッフ	ANA中部空港
	関西国際空港	航空整備	ANAﾗｲﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ
		グランドハンドリング	ANA関西空港
		グランドスタッフ	ANA関西空港
	福岡空港	航空整備	JALｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
		グランドハンドリング	JALｸﾞﾗﾝﾄﾞｻｰﾋﾞｽ九州
		グランドスタッフ	ANA福岡空港
	那覇空港	グランドハンドリング	ANA沖縄空港
		グランドスタッフ	ANA沖縄空港

	空港	業務	協力企業
7月	旭川空港	航空整備	JALｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
		グランドハンドリング	日本通運
		グランドスタッフ	日本通運
		空港運営	北海道ｴｱﾎﾟｰﾄ
9月	新千歳空港	客室乗務員	AIRDO
		グランドスタッフ	AIRDO
		航空整備	ANAﾗｲﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ
		グランドハンドリング	ANA新千歳空港
10月	羽田空港	航空整備	ANAﾍﾞｰｽﾒﾝﾃﾅﾝｽ
		グランドハンドリング	羽田空港ｻｰﾋﾞｽｸﾞﾙｰﾌﾟ
		客室乗務員	日本航空

＊道内及び全国主要空港を使ったオープンキャンパス

＊航空各社及び各関係機関協力の下 産学連携で実施

- 空港の仕事説明, 制限エリア内の作業現場見学
- 日本航空大学校の説明

生徒約230名, 保護者140名 計370名参加

企業連携での航空業界への体験型学習として 次年度以降(R9年度以降も含め)継続実施計画



日本航空大学校 北海道